

災害対策型 多用途透析装置 NCV-3SH 販売開始のお知らせ

ニプロ株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：佐野 嘉彦）は、大地震等の災害にも対応可能な透析装置をコンセプトとした、カウンター設置型の多用途透析装置「NCV-3SH」の販売を2017年2月初旬より開始しますので、お知らせいたします。

国内における血液透析治療^{※1}患者数は、約32万人にのぼり^{※2}、血液透析治療が施行可能な医療施設は約4,300施設^{※2}あります。これら医療施設では、万が一、大地震が発生した場合の透析装置の移動・転倒防止対策や、停電発生時の患者さまへの対応方法を検討するなど、防災意識が高まりつつあり、とくに透析装置の地震対策は大きな課題となっています。

そこで当社は、このような現場ニーズに応えるため、医療施設の設備であるカウンターに完全固定が可能な、カウンター設置型の透析装置を開発しました。

<主な特長>

■震災対策コンセプトモデル

強靱なボルト・ナットで透析用カウンターと完全に固定できる設計となっており、震度6強の地震発生時にも移動・転倒を防止可能。

(実動振動試験<震度6強相当：神戸波・東北波>において安全性を確認済み)

■緊急時の返血^{※3}バックアップ機能を搭載

バッテリーを内蔵しているため、停電などの緊急時においても安全に自動で返血作業（治療離脱）が可能。

■15インチ高解像度ディスプレイ

離れた場所からも数値を確認可能な大型ディスプレイに視覚・聴覚・触覚を刺激する振動パネルを採用。

■オンラインHDF、I-HDF対応モデル

業界初、カウンター設置型でありながら補液ポンプを搭載した透析装置で、オンラインHDF治療にも対応可能。



災害対策型 多用途透析装置 NCV-3SH

製造販売元 澁谷工業株式会社

(医療機器承認番号 22800BZX00390000)

※1 血液透析治療…取り出した血液を人工腎臓(ダイアライザ)に送り、4～5時間程掛けて血液中の余分な水分や老廃物などをろ過し、除去して体内に戻す治療法。

※2 一般社団法人 日本透析医学会発行 「図説 わが国の慢性透析療法の現況」(2014年末データ)より

※3 返血…治療中、血液回路やフィルター内などの体外に出ている血液を、患者体内に戻す作業

ニプロは今後とも、患者さまの QOL (Quality of life) 向上はもちろんのこと、より安全で、社会のニーズに応えられる製品の開発、提供に努めてまいります。

<お問い合わせ先>

リリースの内容に関するご照会	: 広報担当	TEL 06-6375-6700
その他製品に関するご照会	: 企画開発技術事業部 医療器械開発営業部	TEL 06-6373-0519